

「地盤工学会誌」 読者アンケート集計結果

「地盤工学会誌」3月号 (Vol.65 No.3)

特集テーマ: 技術の継承と教育

回答人数: 30人 / 50人中      回答率 60%

① 最も興味深かった記事について

【1位】 論説: 大学における地盤工学教育

【2位】 総説: 日本における技術の継承と教育—建設産業を中心として

【2位】 報告: 組織の技術力向上について

② 自由意見欄

I 記事に対するご意見

1	UAV を用いた地形測量技術は参考になりました。
2	記事の中で最も興味深かったものは、「大学における地盤工学教育」です。記事の内容に同感です。
3	建設業の従事者が減少の一途をたどる昨今、技術の継承は深刻な問題である。特に土木は経験工学とも表現されるように、自らの経験を元に技術や知識を習得するものなので、真の継承は非常に難しい問題だと思う。
4	企業においても技術の継承、特に現場技術の継承については大きな課題です。
5	技術の継承... 以前なら当然の事で話題にすらならなかった話題です。近年は身に迫る話題で、弱小企業勤務の自分には継承は既に無理な事と諦めています。 ですが、もっと詳しく各論を読みたかったです。 個人的には、現場オペレーター、技術者共に仕事をこなすのが背一杯で、知識探求欲に欠けていると思います。
6	我々のような中堅技術者は、確立された技術を吸収しつつそれを発展させる取り組みを行い、培った技術を若手技術者へ効率よく伝える必要があると考えている。今回の特集で地盤工学分野に係る技術継承について、各機関等で体系立てて纏められたものを拝見し、何が課題でどういった取り組みがなされようとしているのかといったことを改めて認識できたことで、自分たちの活動の仕方が明白になったような気がしました。
7	地盤工学と地質学における最新のかかわり 道路工事やトンネル工事で留意すべき日本の地質特性はとても興味深い内容であった
8	技術紹介「無人飛行機 (UAV) を用いた地形測量技術」について、自然災害等現場での実績が増加しており、今後のさらなる普及が想定されますが、改めて本調査手法の基礎知識を理解することができました。興味のある読書も多いと思われ、大変貴重な技術紹介でありました。

9	ベテラン技術者のリタイアと若手技術者の担い手不足に伴う技術の継承はどこの組織でも直面している喫緊の課題であると思いますが、少なからず参考になりました。
10	コンサルタント業種においても、建設会社に比べて社員人数が少ない状況にあり、技術伝承が非常に重要です。実際の体験例などの報告があり、大変貴重な内容であったと思います。

## II 今後取り上げてほしい記事

1	災害事例や、最新の技術や地域地盤特性を踏まえた、設計・工事事例を掲載いただければと思います。
2	現場の生産性向上（省人化、ICT）への取り組み
3	・斜面防災技術の応用   ・盛土の耐震性評価手法の現況と今後の動向   ・特殊土の物理特性、力学特性   ・地下水位調査とモニタリング技術
4	試験値のバラツキに関する考え方と取扱いに関する注意点
5	自然災害対応について
6	・杭の施工に関する不具合対策事例紹介   ・ICT 活用による土工事施工の最先端技術紹介
7	山手の台地と下町の低地における地震動の違いなど